

令和 6 年度住宅防火対策推進事業実施結果

令和6年度 住宅防火対策推進事業実施結果

団体名 公益財団法人 日本消防協会

担当者名 業務部 副主幹 安藤 尚

事業項目	事業の概要
ラジオ放送による 広報	<p>ニッポン放送をキー局とした全国30局ネットで、芸能界、スポーツ界等の著名な方々による「消防応援団」のメンバーの方にゲストとしてご出演いただいているラジオ番組『おはよう！ニッポン全国消防団』のCMにおいて住宅防火対策について広報を実施した。</p> <p>(毎週土曜日又は日曜日放送) 令和6年度中は計52回放送。</p>
消防団員研修及び 各種イベントの開催	<p>消防団員指導員研修等において、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の住民に対する指導要領等を消防団員に指導した。</p>
冊子及びホームページでの 広報	<p>消防団の活動事例等を掲載した冊子『地域防災力の充実強化と消防団～新たな災害環境に対応する消防団運営～』において、地域住民への住宅防火対策（住宅用火災警報器の設置及び維持管理等）の取組みを紹介し、併せて、当協会ホームページにも掲出した。</p> <p>冊子については、全国の消防団に配布した。</p>
消防団防災学習・災害 活動車両交付事業	<p>消防団防災学習・災害活動車両交付事業は、地域の総合的な防災力の充実強化を図ることを目的に実施した。</p> <p>防災訓練等への取組みを支援するため、平時は地域住民、子供たち、事業所等の防災学習や防災指導用として活用し、災害時は緊急車両として消火・救助資機材の搬送や現場活動に活用できるもので、平成26年度から全国の消防団に交付している。</p> <p>この車両を活用して、自主防災組織、女性防火クラブ及び少年消防クラブ等に煙体験ハウスや訓練用水消火器を使用した防災訓練及びプロジェクターやスクリーンを使用したDVDによる防災教育等を実施し、防火・防災の普及啓発を行った。</p>
少年消防クラブ交流 会全国大会の開催	<p>兵庫県神戸市で開催した。大会参加者に対し防災VR、合同訓練を通じて防火・防災の普及啓発を行った。</p> <p>(令和6年9月14日、15日 60チーム参加)</p>

消防PR活動



消防団概要

都道府県名 埼玉県
 消防団名 蕨市消防団
 実員数 87名（うち女性団員 4名）
 HPアドレス <https://www.city.warabi.saitama.jp/kurashi/anzen/shobo/syouboudan/index.html>
 消防団事務局 〒335-0005
 埼玉県蕨市錦町5丁目1-22
 蕨市消防本部 総務課庶務係
 電話 048-441-0117
 メールアドレス shoubou@city.warabi.saitama.jp

活動内容

実施日： 令和6年4月29日（月）
 イベント名： 『中仙道蕨宿苗木市・わらび藤まつり』
 場所： 中山道蕨宿（蕨市中央5丁目14番付近）
 概要： 消防車両の展示と同時に市民に消防をPRし、防災意識の高揚を図り、併せて消防団員の募集啓発活動を実施する



消防団募集ブース



募集啓発活動

特記事項

市のイベント等に消防PR活動として参加することにより、防火に対する指導や消防団員の募集啓発活動が行えております。残念ながら現在のところ、消防団員募集啓発活動における団員確保には至ってませんが、今後も市のイベント等に参加して、消防団員の確保に努めたいと考えております。

令和6年度住宅防火対策推進事業実施結果

団体名 一般財団法人 日本防火・防災協会

担当者名 振興部長 福留 早巳

事業項目	事業の概要
住宅防火推進事業	<p>① 火災予防活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『防火防災かるた』をタイトルに、地域住民の住警器の定期点検や住警器の交換など、女性防火クラブ員等が中心となり防火・防災フェスティバルや幼稚園・小学校等を訪問して、普及活動を行うための資料として「かるた」を作成し、全国の消防本部に4,000部配付した。 ・女性防火クラブにより、防災訓練、研修会を通じて住宅用消火器等の設置促進、維持管理方法等の普及啓発を図った。 <p>② 市町村女性防火クラブ幹部地域研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国6ブロックにおいて女性防火クラブ研修会を開催し、住宅防火対策の推進を図った。このうち3ブロックで日本火災報知機工業会、3ブロックでガス警報器工業会の協力を得て、住宅用火災警報器、ガス・CO警報器の普及啓発を図った。 <p>③ 女性防火クラブ等防火防災対策行事への助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、40地区で地区大会・地区研修会を開催し助成金を交付した。

令和6年度 住宅防火対策推進事業実施結果

団体名 一般財団法人日本消防設備安全センター

担当者名 業務部業務課 主任 田口 龍太郎

事業項目	事業の概要
住宅防火パンフレットの作成・頒布事業	全国の消防本部、都道府県消防設備協会等へのパンフレット「いのちを守る10のポイント」の頒布等を通じ、住宅用火災警報器の設置促進を図り、もって住宅火災による死者数軽減の推進に努めた。 合計 39,330 部

令和6年度 住宅防火対策推進事業実施結果

一般財団法人 消防試験研究センター

総務課主査 見留 直樹

事業項目	事業の概要
展示会の出店に係る事業	「第51回国際福祉機器展H. C. R. 2024」へブースを出展し、危険物取扱者及び消防設備士試験の普及促進に係る広報活動を実施した。

「第 51 回国際福祉機器展 H.C.R.2024」 出展風景



令和6年度 住宅防火対策推進事業実施結果

貴団体名 一般財団法人 消防防災科学センター

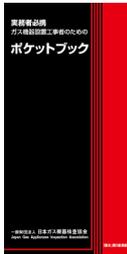
御担当者名 胡 哲新、藤田 徹

事業項目	事業の概要
消防本部における住宅防火対策に係る取り組みの実態調査等	<p>当センターでは、定期的に消防本部からの受託業務を行っている。その場合において、消防本部における住宅防火対策に係る取り組みの実態等の聞き取りに努めている。</p> <p>令和6年度の業務において、次のような意見が取り上げられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットなどを活用して住宅防火を呼び掛けているが、ITに慣れていない高齢者には届きにくい。 ・ 飲食店については、建築時に消防局への届出が必要となる場合があるが、店主が法令を知らないために届出せずに建ててしまい、後から確認し、問題を指摘しても変更が難しい場合がある。
水道連結型スプリンクラー設備の耐震措置の検討	<p>「スプリンクラー設備等の耐震措置に関するガイドライン」(平成30年5月11日付け消防予第361号)では水道直結型スプリンクラー設備については対象外だったことから、調査検討会を立ち上げ、令和2年度に「特定施設水道連結型スプリンクラー設備等の耐震措置に関する指針」を策定した。</p> <p>地震によるスプリンクラー設備(以下SP)の被害調査については、山形県沖地震(令和元年)に引き続き、令和6年1月1日に発生した能登半島地震についても実施した。</p> <p>(調査方法) 関係団体等から被害情報30件程度を収集し、被害状況及び原因を分析した。</p> <p>(調査期間) 令和6年3月7日(木)～3月22日(金)</p> <p>(調査分析結果) 地震によるSP被害を防止するためには、ガイドラインに沿ったスプリンクラー設備の施工に加え、天井の耐震化及び耐衝撃性SPヘッドの採用、更には、SP配管周囲にスペース確保が困難な場合には、周囲のダクト等の耐震支持が必要であることが認められた。</p>

令和6年度 住宅防火対策推進事業実施結果

貴団体名 一般財団法人日本ガス機器検査協会

御担当者名 松田 明彦

事業項目	事業の概要
<p>特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律に基づく資格付与・講習事業</p> <p>ガス関連業界制度に基づく設備等の施工に関する資格付与・講習事業</p>	<p>実務者必携 ガス機器設置工事者のためのポケットブック（家庭用「ガス機器の設置基準及び実務指針(第9版)」準拠版）の出版</p> <p>【事業概要】 ガス機器は適切な給排気設備の設置及び火災予防上の配慮等が必要不可欠で、これを怠った場合は火災等の事故が発生する恐れがあります。「ガス機器の設置基準及び実務指針（通称：黒本）」は、ガス機器の安全な設置に関する基準・指針で、消防法や建築基準法をはじめとする関係法令を網羅しています。黒本は、学識経験者、通商産業省、建設省、自治省消防庁、ガス業界、ガス機器業界及びその他の関係諸団体の参画を得て、1983年3月に初版が発刊されました。以降、関係法令の改正や建築様式の変化、新たなガス機器の登場等に対応した改定を重ね、40年余りにわたり各方面で御活用いただいております、2022年12月には最新の家庭用黒本第9版が発刊されました。</p> <p>また、実務者向けにガス機器の設置に関する基準・指針を現場で直ぐに御確認いただけるよう、持ち運びに便利なコンパクトサイズにまとめた『実務者必携 ガス機器設置工事者のためのポケットブック』を2010年に刊行しております。ポケットブックは黒本にはない施工上の留意点等も掲載されており、家庭用黒本第9版に準拠した改定版ポケットブックは、2025年2月から販売を開始しております。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>サイズ： タテ297mm×ヨコ210mm</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>サイズ： タテ180mm×ヨコ90mm</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>ガス機器の設置基準 及び実務指針（家庭用） 第9版</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>家庭用ポケットブック （ガス機器の設置基準及び 実務指針（第9版）準拠版）</p> </div> </div>

安全啓発活動	<p>大田区役所から協力要請を頂き、令和6年度大田区総合防災訓練「防災EXPO」に一般社団法人日本石油機器工業会（JGKA）と共同で出展しました。</p> <p>出典テーマは『「自助防災」カセットこんろでもしにも備える』。自助を目的とする中でカセットこんろは有用であることから、安全な使いかたや、カセットボンベを使用した製品をわかりやすく説明しました。</p>																							
	<p style="text-align: center;">表 来場者数</p> <table border="1" data-bbox="507 533 1415 786"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>防災EXPO 来場者数</th> <th>体験型ア トラクショ ン参加数</th> <th>大田区合計 ※</th> <th>JGKA+JIA ブース来 場者数</th> <th>こんろボンベ パズル参 加数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月31日 (土)</td> <td>705</td> <td>322</td> <td>1027</td> <td>約230</td> <td>約75</td> </tr> <tr> <td>9月1日 (日)</td> <td>650</td> <td>234</td> <td>884</td> <td>約230</td> <td>約80</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,355</td> <td>556</td> <td>1,911</td> <td>約460</td> <td>約155</td> </tr> </tbody> </table> <p>※防災EXPOと体験型アトラクションは重複カウント含む (実際は2日計1355)</p> <div data-bbox="620 947 1302 1267" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">※ JGKA公式キャラクター コウカンガルーのカンナちゃん 図1 出展ブース</p>	日程	防災EXPO 来場者数	体験型ア トラクショ ン参加数	大田区合計 ※	JGKA+JIA ブース来 場者数	こんろボンベ パズル参 加数	8月31日 (土)	705	322	1027	約230	約75	9月1日 (日)	650	234	884	約230	約80	合計	1,355	556	1,911	約460
日程	防災EXPO 来場者数	体験型ア トラクショ ン参加数	大田区合計 ※	JGKA+JIA ブース来 場者数	こんろボンベ パズル参 加数																			
8月31日 (土)	705	322	1027	約230	約75																			
9月1日 (日)	650	234	884	約230	約80																			
合計	1,355	556	1,911	約460	約155																			
防災パンフレットの作成・発行	<p>品質管理が不十分な輸入品のガストーチがネットモールで多数流通していることを背景に、ボンベ接続部からのガス漏れが原因となった火災や火傷などの事故件数が増加傾向にあることから、一般社団法人日本ガス石油機器工業会（JGKA）が「安全性に問題のあるガストーチの使用を避けるための注意喚起パンフレット」を作成されました。当該パンフレットにつきましては、一般社団法人日本ガス石油機器工業会（JGKA）のご依頼に基づき、弊会も連名で掲載させていただきました。</p> <p>また、ガスコードの経年劣化による製品事故（火災等）が増加してきていることを踏まえ作成された「ガスコードやゴム管用ソケットには寿命がある旨を周知する注意喚起パンフレット」についても、一般社団法人日本ガス石油機器工業会（JGKA）のご依頼を受け、弊会も連名で掲載させていただきました。</p> <p>これらのパンフレットによる注意喚起活動を通じて、消費者への安全意識の向上を図り、安全で安心な社会の実現に貢献していきます。</p>																							



図2 ガストーチに関する注意喚起パンフレット



図3 ガスコードに関する注意喚起パンフレット

携帯液化石油ガス用バーナー（いわゆる「ガストーチ」）の規制化へ向けて

携帯液化石油ガス用バーナー（いわゆる「ガストーチ」）は、近年、一般消費者に浸透しつつありますが、品質管理の不十分な輸入品がネットモールで多数流通していることを背景に、ボンベ接続部からのガス漏れが原因の火災や火傷などの事故件数が増加傾向にあります。

そこで、こうした製品による事故を防ぐため、2025年2月より、ガストーチは「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」における「液化石油ガス器具等」に指定され、新たな規制が始まりました。

今後、新たに定められた安全に関する基準を満たしていることを第三者が確認した上で、◇PSLPGマークの表示をしなければ、ガストーチの販売をすることはできなくなります（経過措置:1年）。

弊会は2月6日付でこの第三者機関（適合性検査の登録検査機関）として登録されました。今後は当該適合性検査を通じて、製品事故の防止に貢献していきます。

令和6年度 住宅防火対策推進事業実施結果

住宅防火対策推進協議会

担当者(一財)日本防火・危機管理促進協会

参与兼事務局長 梅原 直

事業項目	事業の概要
住宅防火防災推進シンポジウムに係る事業 (資料1)	<p>令和6年年度住宅防火推進シンポジウム～地域ぐるみで考えよう！住宅防火と防災対策～を宮崎県宮崎市、山口県周南市の2箇所で開催しました。</p> <p>1 開催日時等 (1) 宮崎県宮崎市 令和6年12月21日(土) (2) 山口県周南市 令和7年2月1日(土) ※各会場の開催時間 13時00分から16時00分</p> <p>2 開催場所 (1) 宮崎県宮崎市霧島1丁目1-1 JA・AZMホール (2) 山口県周南市徳山5854-41 周南市文化会館</p> <p>3 開催内容 第1部 ダニエル・カールの防災がんばっぺ 第2部 ・消防団女性分団による寸劇(宮崎市) ・地元幼稚園児による実演(周南市) 第3部 住宅用防災機器を動画を交えての紹介 第4部 「住宅防火に関するパネルディスカッション」 (菅原教授、総務省消防庁予防課、ダニエル・カール氏、開催本部の関係者) その他 住宅用防災機器の紹介(各会場エントランスホールにて) 総務省消防庁予防課、(一社)日本火災報知機工業会、(一社)日本消火器工業会、(一社)日本消火装置工業会、(公財)日本防災協会、ガス警報器工業会</p>
CATV等による住宅防火広報事業 (資料2)	<p>消防本部で実施されるイベントの機会に住宅防火広報を行うとともにCATV(ケーブルテレビ)等向けの番組を作成し、放送する事業を全国3ヵ所で実施しました。</p> <p>1 新潟県佐渡市消防本部 令和6年10月13日(土) 「消防ふれあい広場2024及び住宅用防災機器等の紹介」 放送日:11月23日(土・祝日)、24日(日) コミュニティネットワーク佐渡</p> <p>2 愛知県愛西市消防本部 令和6年10月27日(土) 「あいさいさん祭り2024及び住宅用防災機器等の紹介」 放送日:11月30日(土)、12月1日(日)クローバーTV</p> <p>3 愛知県西尾市消防本部 令和6年11月10日(日) 「2024きらまつり及び住宅用防災機器等の紹介」 放送日:12月14日(土)15日(日)22日(土)28日</p>

	<p>(日)：KATCHチャンネル 住宅用防災機器の紹介 住宅用火災警報器をはじめ各種住宅用防災機器等を会場来場者及びケーブルテレビ放送の中で紹介し、普及啓発に努めました。</p>
住宅用防災機器等の展示会への出展に係る事業 (資料3)	<p>「第51回国際福祉機器展H. C. R. 2024」への出展</p> <p>1 開催日 令和6年10月2日(水)～4日(金)</p> <p>2 場所 東京国際展示場(東京ビックサイト・東展示ホール)で開催された「第51回国際福祉機器展H. C. R. 2024」に出展し、(一社)日本火災報知機工業会、(一社)日本消火器工業会、(一社)日本消火装置工業会、(公財)日本防災協会、ガス警報器工業会及び(一財)消防試験研究センターと協力して、住宅用火災警報器の設置促進、住宅用防災機器の普及等と住宅防火意識の高揚を図るための広報を実施しました。</p> <p>※入場者数： 120,041人 当協議会アンケート実施者 2,373人</p>
住宅防火広報資料の制作事業 (資料4)	<p>住宅用火災警報器をはじめとする住宅用防災機器等の普及・啓発と併せて、危険に対する予知及び回避能力や災害時に主体的に行動できる能力を身に付けていただく目的で、住宅用防災機器等(住宅用火災警報器、住宅用消火器、住宅用スプリンクラー、防災品、ガス警報器等)の有用性を紹介した映像資料を制作し、当協会ホームページに掲載するとともにシンポジウムで活用しました。</p>
住宅防火情報の提供に係る事業	<p>住宅防火対策推進協議会ホームページにケーブルテレビ事業などの新着情報を掲載し、住宅防火の普及啓発に努めました。 その他、ホームページの新着情報等を逐次更新しました。</p>

(日本消防検定協会委託事業)

住宅防火啓発用冊子作成・配布事業 (資料4)	<p>住宅火災からいのちを守るため、住宅火災の典型的な火災事例を取り上げて、事例ごとに火災に至った経緯や問題点、対策や注意点をイラストや写真を用いてとりまとめた冊子「火災事例から学ぶ住宅防火対策～知っておきたい住宅用防災機器～」を日本消防検定協会からの委託により作成し、全国の消防本部に配布し、防火普及啓発に努めました。</p> <p>作成部数 30万部</p>
---------------------------	---

令和6年度 住宅防火防災推進シンポジウム ～地域ぐるみで考えよう！住宅防火と防災対策～

- 名 称： 宮崎県令和6年度住宅防火防災推進シンポジウム
～地域ぐるみで考えよう！住宅防火と防災対策～
- 開催日 令和6年12月21日(土)
- 開催時間： 13:00～16:00
- 会場： JA・AZMホール
〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島1丁目1-1
- 主 催： 住宅防火対策推進協議会
- 協 力： 宮崎市消防局
- 後 援： 総務省消防庁、日本消防検定協会、(一財)日本防火・防災協会
(一社)日本火災報知機工業会、(一社)日本消火器工業会
(一社)日本消火装置工業会、(公財)日本防災協会、
ガス警報器工業会、(一財)日本防火・危機管理促進協会
- 来場者： 200人



令和6年度 **住宅防火防災** 推進シンポジウム in 宮崎 **入場無料**

～地域ぐるみで考えよう！住宅防火と防災対策～

住宅防火防災対策で大切なのは、「自分の身は自分で守る」意識、そして共に助け合うことです。

この機会に街を守る方法を一緒に考えよう！

グニエル・カール

日時	12月21日 13:00～16:00	会場	JA・AZMホール 宮崎県宮崎市霧島1丁目1-1 TEL.0985-31-2000	プログラム
12:19	開会・挨拶	山口 典雄 (一財)日本防火・危機管理促進協会代表理事 海田 知雄 消防局長		
13:10	第1部 グニエル・カールの街がみんなって	グニエル・カール 専任講師 一橋大学名誉教授 尾崎 芳博 消防庁副大臣(兼)消防長		
13:45	第2部 宮崎市消防団 女性分団による寸劇	「お母さん、お父さんを守るために防災対策をしよう」		
14:05	第3部 住宅用防災機器紹介			
14:45	第4部 パネルディスカッション	→パネラー 山口 典雄 (一財)日本防火・危機管理促進協会代表理事 海田 知雄 消防局長 グニエル・カール 専任講師 一橋大学名誉教授 尾崎 芳博 消防庁副大臣(兼)消防長 佐藤 秀夫 宮崎県消防協会代表理事 佐藤 秀夫 宮崎県消防協会代表理事 佐藤 秀夫 宮崎県消防協会代表理事		
16:00	閉会			

主催：住宅防火対策推進協議会
協力：宮崎市消防局
後援：総務省消防庁、日本消防検定協会、(一財)日本防火・防災協会、(一社)日本火災報知機工業会、(一社)日本消火器工業会、(一社)日本消火装置工業会、(公財)日本防災協会、ガス警報器工業会、(一財)日本防火・危機管理促進協会

お問い合わせ：TEL.03-6264-6021
受付：TEL.0985-32-4904



会場屋外広場で消防車両の展示



開演を待つ...!



主催者代表挨拶



開催地代表挨拶



ダニエル・カールさんとのトークショーの様子



宮崎市女性分団による寸劇に会場は笑いの渦... :





住宅用防災機器紹介の様子



パネルディスカッションの様子



応援に駆けつけた
「全国消防イメージキャラクター」消汰



エンディングの様子

記録写真

住宅用防災機器等の展示ブースの様子



防災危機管理課によるVR体験コーナー



主催者代表挨拶



開催地市長挨拶



開催地消防長挨拶



ダニエル・カールさんとのトークショーの様子



和光保育園幼年消防クラブ員による「僕たち私たちのサンバで火の用心...！」



大好きな消火ちゃんと記念写真！



住宅用防災機器紹介の様子



パネルディスカッションの様子



応援に駆けつけた
全国消防イメージキャラクター「消太」



会場全員で「防火防災がんばっぺ！」

CATV等による住宅防火広報事業

(協力:佐渡市消防本部)

■事業名: CATV(ケーブルテレビ)等住宅防火広報事業

「消防ふれあい広場2024及び住宅用防災機器等の紹介」

～地域ぐるみで考えよう!住宅防火と防災対策～

■開催日時:令和6年10月13日(日) 9:30～12:00

■会場:佐渡市消防本部・佐渡市防災センター
〒952-0123 新潟県佐渡市八幡58

■イベント実施主体:佐渡市消防本部

■広報事業実施内容

(1)消防ふれあい広場2024～きみも消防士になれる!～

(2)住宅用防災機器の広報

◆応援参加:山形弁研究家 ダニエル・カール

◆住宅用防災機器展示団体:(一社)日本火災報知機工業会、(一社)日本消火器工業会
(一社)日本消火装置工業会、(公財)日本防災協会
ガス警報器工業会

■ケーブルTVによる放映:コミュニティネットワーク佐渡(島内ケーブルテレビ112ch)
11月23日(土・祝日)18時から
11月24日(日)7時30分から



佐渡市消防本部



開催広報用チラシ

消防ふれあい広場のようす



開場を待つ市民のみなさん



オープニングの撮影の様子



段ボールベッド体験の様子



車両紹介の撮影の様子



大好きなはしご車の試乗体験を待つ



エンディング撮影の様子

住宅用防災機器展示ブースの撮影の様子



住宅用防災機器展示ブース



(一社)日本火災報知器工業会



(一社)日本消火器工業会



(一社)日本消火装置工業会



(公財)日本防災協会



ガス警報器工業会

CATV等による住宅防火広報事業 (協力:愛西市消防本部)

■事業名: CATV(ケーブルテレビ)等住宅防火広報事業

「あいさいさん祭り2024及び住宅用防災機器等の紹介」

～地域ぐるみで考えよう!住宅防火と防災対策～

■開催日時:令和6年10月27日(日) 9:30~15:00

■会場:愛西市役所南館、交流スクエア東側駐車場ほか

〒496-8555 愛知県愛西市稲場町米野308番地

■イベント実施主体:あいさいさん祭り実行委員会 共催:愛西市消防本部

■広報事業実施内容

(1)あいさいさん祭り2024

(2)住宅用防災機器の広報

◆応援参加:山形弁研究者 ダニエル・カール

◆住宅用防災機器展示団体:(一社)日本火災報知機工業会、(一社)日本消火器工業会
(一社)日本消火装置工業会、(公財)日本防災協会
ガス警報器工業会

■ケーブルTVによる放映:クローバーTV

11月30日(土)、12月1日(日) 13:30~、16:00~



愛西市役所



開催チラシ

あいさいさん祭り広場のようす



会場には大勢の市民のみなさん



愛西市のキャラクター
あいさいさん



空に向かい全伸梯するはしご車



車両紹介の撮影の様子



大好きなはしご車の試乗体験を待つ



エンディング撮影の様子

住宅用防災機器展示ブースの撮影の様子



住宅用防災機器展示ブース



(一社)日本火災報知器工業会



(一社)日本消火器工業会



(一社)日本消火装置工業会



(公財)日本防災協会



ガス警報器工業会

CATV等による住宅防火広報事業 (協力:西尾市消防本部)

■事業名: CATV(ケーブルテレビ)等住宅防火広報事業
「2024きらまつり及び住宅用防災機器等の紹介」
～地域ぐるみで考えよう!住宅防火と防災対策～

■開催日時:令和6年11月10日(日) 9:00~16:00

■会場:横須賀公園 愛知県西尾市吉良町中野瀬田65

■イベント実施主体:きらまつり実行委員会 撮影協力:西尾市消防本部

■広報事業実施内容

(1) 2024きらまつり(消防防災広場)

(2)住宅用防災機器の広報

◆応援参加:山形弁研究家 ダニエル・カール

◆住宅用防災機器展示団体:(一社)日本火災報知機工業会、(一社)日本消火器工業会
(一社)日本消火装置工業会、(公財)日本防災協会
ガス警報器工業会

■ケーブルTVによる放映:KATCHチャンネル 12月14日(土)18:00、15日(日)20:30
22日(土) 7:30、28日(日)16:30



きらまつり・消防防災広場



開催チラシ

きらまつり会場のようす



お揃いの半纏を身にまとい



大人気！全国消防イメージキャラクター
「消太」



ダニエル・カールさんのトークショー



ホースを延長し、放水はじめ！



VRによる消火体験



ミニ消防車の体験乗車！

住宅用防災機器展示ブースの様子



住宅用防災機器展示ブース



(一社)日本火災報知器工業会



(一社)日本消防工業会



(一社)日本消防装置工業会



(公財)日本防災協会



ガス警報器工業会

第51回国際福祉機器展H.C.R.2024

- 開催日 令和6年10月2日（水）10時00分～17時00分
3日（木）10時00分～17時00分
4日（金）10時00分～16時00分
- 会場 東京ビッグサイト 東展示ホール
- 主催 住宅防火対策推進協議会
- 目的 住宅火災の死者は、依然として900人を超える方が亡くられており、その75パーセントが65歳以上の高齢者であることから、住宅火災から命を守るための様々な住宅用防災機器等を展示し、来場者に各種機器の有効性を実感していただき、住宅用防災機器等の普及促進を図るとともに、住宅防火に対する意識の高揚を図ることを事業目的とする。
- 出展社 （一財）消防試験研究センター、（一社）日本火災報知機工業会、
（一社）日本消火器工業会、（一社）日本消火装置工業会、
（公財）日本防災協会、ガス警報器工業会
- 来場者 10月2日（水） 38,332人
10月3日（木） 42,805人
10月4日（金） 38,904人 合計120,041人
- アンケート 住宅防火クイズアンケート実施者数 2,373人



東京ビッグサイト東展示ホール



東展示ホール待ち合わせ広場



（一財）消防試験研究センターによる展示



（一社）日本火災報知機工業会による展示



(一社)日本消火器工業会による展示



(一社)日本消火装置工業会による展示



(公財)日本防災協会による展示



ガス警報器工業会による展示



手話通訳者を配置したプレゼンテーション



プレゼンテーションでの住宅防火クイズ

令和6年度 住宅防火対策推進事業実施結果

貴団体名 (一社)全国LPガス協会

御担当者名 瀬谷 孝之

事業項目	事業の概要
ガス警報器設置・ 交換、住宅用火災・ CO警報器設置運動 の展開	消防庁、経済産業省にご後援名義を頂いた「令和6年度ガス警報器設置交換促進啓発ポスター」(約3.7万枚)及び冊子「ガスもれ事故防止のための手引き」(約45.1万部)を、都道府県LPガス協会を通じてLPガス事業者から消費者へ配布をして都道府県協会を、各種警報器の設置及び交換促進運動の積極的な推進を行った。

令和6年度 住宅防火対策推進事業実施結果

団体名：（一社）全国消防機器販売業協会

担当者名：事務局長 岡田 昇

事業項目	事業の概要
住宅防火情報の提供に係る事業	<p>「消防防災関係の講演会」の実施 開催日：令和6年5月10日（金） 会場：KKRホテル東京 141名参加</p> <p>全消販の定時総会後に、消防庁予防課長を講師とした講演会を開催した。全国正会員と賛助会員の消防関係メーカー、消防関係工業会・協会から多数の参加をいただき、住宅防火に対する専門知識の向上とともに、地域社会の防災意識の向上に努めた。</p>
消防法及び住宅防火情報に係る事業	<p>「消防上部関連団体役職者による講演会と情報交換会」の実施 開催日：令和6年11月21日（木） 会場：ANAクラウンプラザホテル神戸 105名参加。</p> <p>神戸市の消防本部、関連団体と、全国的全消販会員の参加により、消防庁予防課課長補佐による講演会（予防行政）、意見交換会、製品紹介等を行ない住宅防火防災に対する専門知識の向上、防災意識の向上に努めた。</p>
消防設備点検業務実施者の資質向上事業	<p>全消販は、平成6年から優良な点検業務実施者の発掘と資質の向上を図って、優良事業所認定制度を運営してきましたが、平成30年に制度の刷新を図り運営を開始し、今年度は更新69社、新規申請4社を認定しました。 累計では98社（111事業所）の認定となります。</p>
消火器リサイクル促進に関する広報活動	<p>記念日「家庭用消火器点検の日（1月19日）」の訴求を消火器リサイクル推進センター及び日本消火器工業会と連携して実施した。</p>

令和6年度 住宅防火対策推進事業実施結果

団体名 一般社団法人 日本火災報知機工業会

担当者名 事務局 長 高宮 恭一

事業項目	事業の概要
住宅用火災警報器の普及促進	<p>(1) ノベルティグッズを活用した広報資料の無償提供事業の実施 工業会ホームページでの申込受付により防火防災イベント等の主催者等の希望者に対し、①「住宅用火災警報器 交換促進タオル」、②「住宅用火災警報器 交換診断シート」、③「住宅用火災警報器 交換診断推進リーフレット」各100枚を1セットとして約50セットを無償提供した。</p> <p>(2) PC・スマホによる住宅用火災警報器オンライン交換診断の運用 パソコン・スマートフォンによる「オンライン交換診断」を昨年に引き続き工業会ホームページで運用している。</p> <p>(3) 住宅用火災警報器 交換診断シート等のサンプル配布の実施 全国720消防本部に対して、①「住宅用火災警報器 交換診断シート」、②「住宅用火災警報器 設置維持管理」各200部を広報用サンプルとして配布した。尚、本配布は、今年度をもって終了し、次年度以降、ホームページからの問い合わせに対して、必要部数の配布を行っていく。</p> <p>(4) 春・秋の火災予防運動に合わせたSNS・Web広告の実施 春と秋の2回、SNS・Web広告を実施し、広告クリックで「とりカエル」スペシャルサイトへの招待を行った。通常期の40倍以上のアクセス数となり、一定の広告効果が得られた。</p> <p>(5) 住宅用火災警報器 点検・交換推進の15秒CM動画の配信 秋の火災予防運動が始まる11月9日から12月15日までの37日間、① YouTube、② Instagram、③ X（旧 Twitter）、④ Facebook、⑤ LINEで、(4) のSNS・Web広告と共にCM動画の配信を行った。表示回数、視聴回数とも想定を上回り、一定の効果が得られた。</p> <p>(6) 住宅用火災警報器 点検推進マンガによる啓発 定期的な点検を啓発するキャラクター「とりカエルJr.」を登場させた点検の啓発活動の一環として、第8回となるマンガを制作し、「とりカエル」スペシャルサイト上で公開した。</p>
住宅用火災警報器の各種リーフレット・資料映像等による広報	<p>「住宅用火災警報器 交換診断シート」、「住宅用火災警報器 設置・交換ガイドブック」、「住宅用火災警報器 設置維持管理」など、7種類のリーフレット類や、「住宅用火災警報器のはたらき」、「住宅用火災警報器 交換のおすすめ 10年たったら、とりカエル。」などの映像資料をホームページからダウンロード可能としている。令和6年度は新たな映像資料として、SNS・Web広告として配信した「住宅用火災警報器の点検啓発用動画（15秒）」と「住宅用火災警報器の交換啓発用動画（15秒）」の2つのショート映像をホームページに追加した。</p>

<p>住宅用火災警報器 相談室の運営</p>	<p>フリーダイヤル(0120-565-911)による相談室を運営し、購入・設置・点検・交換・警報音など各種相談に対応するとともに、相談内容の傾向を把握した。</p> <p>最近の傾向として、【「電池の交換」や「電池切れや故障などの警報音」に関する問い合わせ】が多く、交換時期に来ている住宅用火災警報器の交換に対する理解を頂いている。 (年度での全問い合わせ内容の50%を超えている。)</p> <p>2019年度 9.3% : 2023年度 48.5% 2024年度 56.8% (12月末現在) 437件/769件</p>
<p>住宅防火推進シンポジウム等への協力</p>	<p>(1) 住宅防火防災推進シンポジウム・CATV事業への参加 工業会から委員を派遣し住宅用火災警報器のパネル展示、リーフレットの配布、着ぐるみ「消太くん」等によりPRした。 ① シンポジウム：2ヶ所（宮崎市・周南市） ② CATV等事業：3ヶ所（佐渡市・愛西市・西尾市）</p> <p>(2) 第51回国際福祉機器展（令和6年10月2日～4日）への参加 東京ビッグサイトの展示場に工業会から委員を派遣し住宅用火災警報器のパネル展示、リーフレットの配布等によりPRした。</p> <p>(3) 着ぐるみ「消太くん」及び「とりカエル」の貸出し事業の実施 消防署等からの申込に応じて貸出しを行い、防火防災イベントでの住宅用火災警報器の交換促進、その他のPRに活用して頂いた。（年度内約23回見込み）</p> <p>(4) 社会貢献委員会への事業協力 一般社団法人全国消防機器協会が所管する社会貢献委員会の寄贈事業に参画した。 ① 全国21の配付モデル事業地区向けに住宅用火災警報器を合計2,100個寄贈した。 ② 「住宅用火災警報器に関する取組み等」の講演を行った。</p>

令和6年度 住宅防火対策推進事業実施結果

団体名 一般社団法人 日本ガス石油機器工業会

担当者名 専務理事 猪股匡順

事業項目	事業の概要
①消費者向け製品安全使用啓発セミナーの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年も消費者向けの製品安全使用啓発セミナーへ講師を全国へ派遣し、日々の防火・防災「ガス・石油燃焼機器の安全・安心な使い方」の講演を行った。 ・セミナーにおいて製品に起因する事故の未然防止や点検・取替えの目安の周知にて経年劣化による事故低減を図るなど、積極的な啓発活動を行った。(主に地域防火クラブや地域女性団体) ・令和6年実績 43会場 (受講者1,750名)
②製品安全使用啓発チラシによる普及活動	<ul style="list-style-type: none"> ・総務省消防庁、経済産業省、(一財)日本ガス機器検査協会等にご後援名義をいただき、消費者向け製品安全使用啓発チラシを作成し ※1、セミナー、春・秋季全国火災予防運動、展示会、関係団体にて配布し啓発活動を行った。 ・春・秋季全国火災予防運動(11月・3月)において、消防本部・局窓口を通じた製品安全使用啓発チラシの提供配布を行った。 ・令和6年実績(春季4アイテム 14.2万部、秋季17アイテム 25.3万部) 計39.5万部
③工業会ホームページ・広報媒体による製品安全使用周知活動	<ul style="list-style-type: none"> 工業会ホームページや広報媒体を使用した安全使用啓発の周知活動を行った。 ・「正しい安全な使い方」で各機器の情報を提供した。 ・雑誌(2誌)、女性団体の機関紙(3団体)に、注意喚起広告を出稿し、普及に努めた。
④展示会における製品安全使用啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・1月に東京ビッグサイトで開催された「令和6年東京消防出初式」に出展し、来場者に「こんろ」について、使用時の注意事項等の安全使用啓発活動を実施した。 ・8月31日(土)～9月1日(日)、東京都大田区大森スポーツセンターで開催された大田区防災EXPOに(一財)日本ガス機器検査協会と共同で出展し、カセットこんろ、カセットガスストーブ、カセットガス発電機や避難時に好適なテント等を展示し、来場者への啓発活動を行った。 ※2

※1 2024年度作成チラシの一例
 (1)STOPガスこんろ火災

古いコンロは**火災リスク**に要注意! **STOP! コンロ火災**

全口にセンサーが付き、安全機能の充実した**Siセンサーコンロ**への

安心 替え をおすすめ します!

Siセンサーを正しく使って安心調理!

「Siセンサーコンロ」とは、安心(Safety)、便利(Support)、笑顔(Smile)を約束する、賢い(Intelligent)センサーを搭載したコンロで、それぞれの頭文字である「S」と「i」を組み合わせたものです。

Siセンサーが安心を見守っています。

温度センサーで過熱しすぎをストップ! てんぷら油の自然発火を防ぎます。



コンロ火災は、その多くが調理中にうっかりその場を離れたり、過熱しすぎて火災に至っています。**Siセンサーコンロは、うっかり過熱した際にセンサーが温度を感知、ガスの火を安全に止め事故リスクを下げます。**

Siセンサーコンロ普及で火災事故が減少中!

ガスコンロ火災の件数推移



Siセンサーコンロは既に住宅の70%に普及しています※。コンロ火災は、このSiセンサーコンロの普及と共に年々減少、このコンロに搭載された過熱防止機能や消し忘れ防止機能など安全機能が有効にはたらいていると考えられています。

出典:令和5年版消防白書

2023年12月末現在 累計約5045万台 JGKA調べ
 (2023年1月1日現在 総世帯数6027万世帯 総機台数調べ)

安心替えはお近くのガス器具取扱店、又はメーカーにご相談ください。

詳しくは⇒
 ホームページを
 チェック!



発行元:



お問い合わせ/03-6811-7370

33-G2407

(2) 危ないガストーチは買わないで!使わないで!

「安全性に疑いのある」危ないガストーチは 買わないで!使わないで!ください

携帯型ガスボンベを使うガストーチは、
炎と燃料を手にとって取り扱うものです。

安全性に疑いがある商品の場合には
「手元まで大きな炎につつまれる」
「大きな炎が消せない状態になる」など、
火傷や**火災**の危険性があります。

危険な製品は使わないように、注意してください。

危ない!!

危ないガストーチとは

1 使うカセットボンベが指定されていない

- ガストーチとガスボンベがぴったりとはまり合わないと、ガス漏れする危険性があります。
- ガスの成分がガストーチに合わないと、異常燃焼する危険性があります。

だから

!ガストーチと接続するカセットボンベは指定されているもの同士でなければなりません。
使うカセットボンベが指定されていないガストーチは使わないでください。
(指定されるカセットボンベにも、このガストーチに使うことが明示されている必要があります。)



2 使い方が理解できる取扱説明書が ついていない

- ガストーチの性能と扱いは、メーカー・機種によって大きな違いがあります。
- 使い方と取扱い上の注意が正確に理解できる取扱説明書が必要です。



だから

!海外製品が日本で販売される場合でも、正しい日本語の取扱説明書がついていることは必須です。

!安全を確保するための十分な内容がきちんと書かれているかよく読んでください。

3 万一事故が起きた時に対応してくれる 国内の連絡先電話番号がわからない

- ガストーチの事故が多発しています。
万一事故が起きた時、連絡する会社名とつながる電話番号が必要です。
(携帯番号やメールアドレス・ホームページURLでは、緊急時の迅速な対応に懸念があります。)
- 連絡先が不明な場合、被害の補償も受けられず、
莫大な損害をこうむる可能性があります。



だから

!日本国内で事故が発生した時にきちんと対応してくれる会社の連絡先が書いていない場合は危険です。

!事故発生時に責任を負って対応してくれる会社の電話番号が書かれているか確認してください。

※使用前にガス漏れの音や臭いがする製品は使わないでください。



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry



総務省消防庁
Fire and Disaster Management Agency



一般社団法人日本ガス機器検査協会
Japan Gas Appliance Inspection Association



一般社団法人
日本ガス石油機器工業会

！安全にご使用いただくため！ 必ず守ってください！

カセットボンベが**異常過熱**される
扱いは絶対にしないでください。



カセットこんろやカセットボンベを不適切に取り扱くと**火災**や**破裂事故**が発生します。

容器カバーを覆う調理器具をのせない



カセットこんろを2台並べてその上に大きな鉄板をのせない。

容器カバーの上にかぶさるような大きな調理器具をのせない。

ストーブの近くなど高温になるところに置かない



ストーブ・ファンヒーターなどの近くに、カセットこんろ・カセットボンベを置かない。

電気調理器の上に置かない



電気調理器の上にカセットこんろやカセットボンベを置かない。

他の熱源の上や近くにボンベを置かない



ガスコンロ・七輪・鉄板焼器や焼鳥器・炭焼台など熱を出す他の調理器具のそばにカセットボンベを置かない。

炭の火起こしなど使用禁止の使い方をしない



セラミックや石などで作られた蓄熱性の高い調理器具は使わない。

炭の火起こしに使わない。

残ったガスを室内でガス抜きしない



室内でカセットボンベのガス抜き作業をしない。

たき火や炭火の近くで使わない



たき火や炭火の近くにカセットボンベを置かない。

テント内や車内、狭い場所、締め切った場所で使わない



一酸化炭素中毒・窒息死に至る危険があります。

(3) カセットこんろの使用時には必ず守ってください！(裏)

カセットボンベの廃棄はガスを使い切ってから

捨てる時は
振って
確認を！



カセットボンベに
穴を開けて
ガスを抜くと
火事、爆発の
危険あり！

絶対に
しないでください

1

缶を振っても
シャカシャカ
音がしない

中の
ガスが
ない

2

廃棄

お住まいの自治体の
ゴミの分別回収
ルールにしたがって
ください。

- カセットボンベにガスが残っている場合は、お湯を沸かすなど、カセットこんろで燃焼に使って缶の中を空にしてください。
- 燃焼に使えない古いカセットボンベの処理方法はメーカーまたは以下のカセットボンベお客様センターにお問い合わせください。
問合せ先:カセットボンベお客様センター 0120-14-9996(平日10:00~16:00まで)

経年劣化にご注意を！

古くなったカセットこんろ・カセットボンベはガス漏れの危険性が生じます。

カセットこんろの場合

製造後約10年を目安に
買い替えのご検討を



製造年月の表示例

本体に貼ってある
「製造年月の表示」シールを確認してください。



カセットボンベの場合

製造後約7年を目安に
使い切る



製造年月日の表示例

本体の底面に印字してある
「製造年月日の表示」を確認してください。



※2 大田区防災EXPOの様子



カセットこんろ・ボンベの経年劣化注意啓発キャラクター「コウカンガルー」の着ぐるみのカンナちゃん

令和6年度 住宅防火対策推進事業実施結果

貴団体名 一般社団法人 日本消火器工業会

御担当者名 常務理事兼事務局長 舟山 仁一

事業項目	事業の概要
住宅防火シンポジウムへの協力	消防庁・住宅防火対策協議会が主催する令和6年度住宅防火シンポジウム開催（2会場）において、住宅用消火器等の説明や商品展示に協力。
住宅防火推進事業への協力	住宅防火推進協議会が主催する令和6年度住宅防火推進事業において、消防本部等が主催する住宅防火イベント3会場において住宅用消火器等の商品展示やテレビ取材に協力。
住宅用防災機器等展示会への出展事業	住宅防火推進協議会が主催する国際福祉機器展において、住宅用消火器等の出展に協力。
社会貢献事業への住宅用消火器の提供	全国消防機器協会による社会貢献事業に住宅用消火器を寄贈（令和6年度は20地区に対し合計500個を寄贈）。
住宅用消火器パンフレット作製・配布事業	住宅相消火器パンフレット「消火器のしおり」を8万部作成し、全国消防機関、設備協会等へ配布。
住宅用消火器の点検促進の情報提供	「家庭用消火器点検の日」（1月19日）に合わせて、工業会ホームページ上で、住宅用消火器点検の促進と方法についての情報を公開。
消防に対する住宅防火後方への協力	全国の消防本部等に対して、住宅防火や消火器リサイクルの広報を行うための資料やイラスト素材を提供。
廃消火器リサイクル普及への展示会出展	（株）消火器リサイクル推進差エンターと共同で「エコプロ2024」に出展し、来場者に住宅防火や家庭内に退蔵する老朽消火器の廃棄方法についての説明や展示を行った。 （3日間のブース来場者は約4,100人）

令和6年度 住宅防火対策推進事業実施結果

団体名 (一社) 日本消火装置工業会

担当者名 業務主幹 中村 浩之

事業項目	事業の概要
住宅防火防災推進シンポジウムへの協力	住宅防火対策推進協議会が主催する令和6年度住宅防火防災推進シンポジウム開催会場2か所(宮崎県宮崎市、山口県周南市)にて開催された。各開催地において「住宅用スプリンクラー」に集約した、パネル、DVD、主要機器の実機を展示し、説明員2名を派遣して、「住宅用スプリンクラー」のパンフレットの配布や来場者対応を実施した。
CATV等による住宅防火広報活動への参加協力	住宅防火対策推進協議会の共催事業である各消防本部主催のCATV等による住宅防火広報事業への参加に関しては開催会場4か所(佐渡市、愛西市、西尾市)において、説明員2名を派遣して「住宅用スプリンクラー」に集約した、パネル・DVD・主要機器の実機を展示し、テレビ取材に協力を行うとともに、「住宅用スプリンクラー」のパンフレットの配布や来場者対応を実施した。
住宅用防災機器等展示への出展事業への協力	住宅防火対策推進協議会の出展事業である「第51回国際福祉機器展H.C.R.2024」の出展において、協議会ブース内に「住宅用スプリンクラー」・「特定施設水道連結型スプリンクラー設備」に集約した、電装自立型パネル・壁型パネル・DVD・主要機器の実機を展示し、説明員3名を派遣して来場者対応を実施した。また、展示関連のパンフレットの配布、アンケートを兼ねた住宅防火クイズの支援対応も行った。
住宅防火啓発用DVDの作成協力	住宅防火対策推進協議会事業である、シンポジウム等の住宅用防災機器紹介にて使用する住宅用スプリンクラーの、DVDの制作に協力を行いました。

住宅用スプリンクラーおよび住宅用自動消火装置の製品例

		住宅用 スプリンクラー	住宅用下方放出型 自動消火装置		天ぷら油消火用 簡易装置
			A	B	
外観例					
防護範囲※	一般火災	13㎡	5㎡	2㎡	—
	台所火災 (天ぷら油火災)	—	3㎡	1㎡	0.5㎡
特徴		小型で目立たない 住宅全体の備えに最適 水道配管利用	装置単体で動作し設置が簡単で既存の住宅にも設置しやすい 「寝室」や「台所」等だけでも備えたい場合に最適		
参考サイズ 幅×高さ：重量		外観例参照 (天井取付)	31×21cm：9kg (天井取付)	20×25cm：5kg (天井取付)	10×47cm：4kg (壁面取付)

※住宅用スプリンクラーおよび住宅用自動消火装置の消火能力には限界があります。
すべての火災に完全に対応できるものではありません。

～各製品の詳細は販売店へお問い合わせください。～

大切な命と財産を守るため！

ぜひご検討ください！



一般社団法人 日本消火装置工業会

<http://www.shosoko.or.jp>



本部

〒105-0003
東京都港区西新橋2丁目18番2号
NKKビル4階
電話：03-5404-2181 FAX：03-5404-7371

関西支部

〒542-0081
大阪府大阪市中央区南船場3丁目2番22号
おおきに南船場ビル4階
電話：06-6245-0179 FAX：06-6245-6094

中部支部

〒453-0013
名古屋市中村区亀島2丁目12番地12号
コマツビル4階
電話：052-452-3971 FAX：052-451-4536

住宅火災の逃げ遅れで 多くの方が亡くなっています！

住宅用スプリンクラーや住宅用自動消火装置で
大切な命と財産を守りませんか

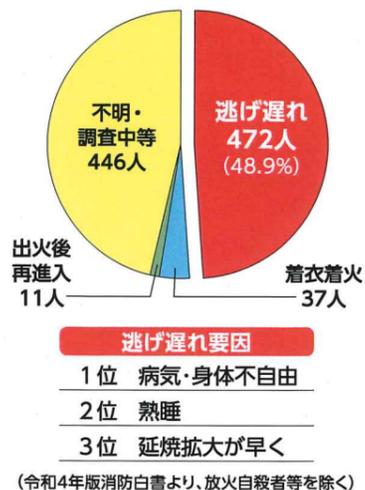


一般社団法人 日本消火装置工業会
Japan Fire Extinguishing Systems Manufacturers Association, General Incorporated Association

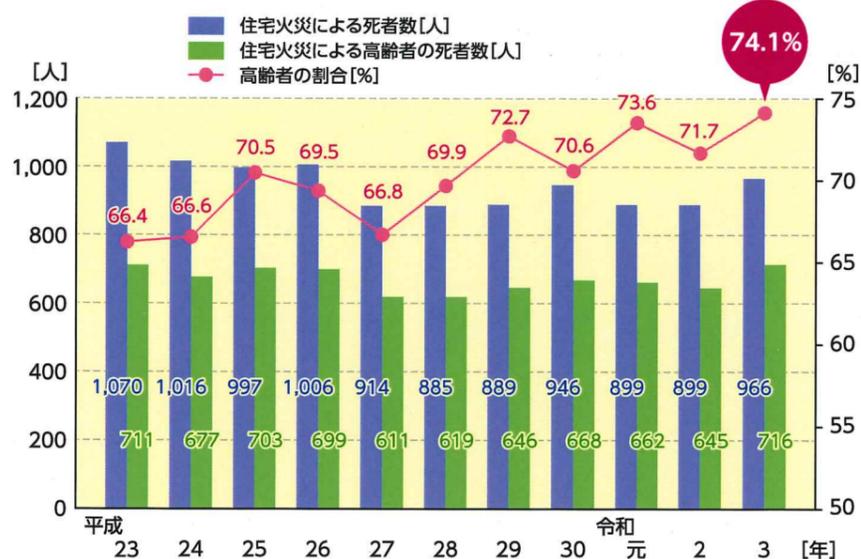
建物火災による死者のおよそ8割が住宅火災で亡くなっています!

その住宅火災による死者の多くは**逃げ遅れ**によるものです。
さらに死者の**およそ7割が65歳以上の高齢者**であり、その高齢者の死者数は横ばいの状況です。

住宅火災で死に至った経過別死者発生状況 (令和3年計966人中)



住宅火災による死者数の推移と高齢者の割合



住宅には思わぬところに**火災の原因**が潜んでいます!

万一の火災による被害低減のため、高齢者など容易に避難できない方の避難や救助時間確保のために、自動で効果を発揮する**住宅用スプリンクラー**や**住宅用自動消火装置**で備えましょう。

寝室



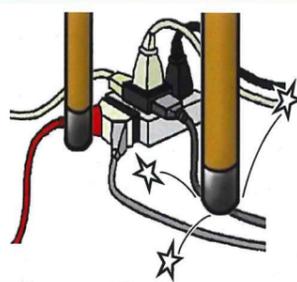
- 寝たばこ
- 布団のそばのストーブ
- ぬれた電気毛布
- 仏壇のロウソク

台所



- コンロで調理中に目を離す (テレビ・来客・電話・スマホ等)
- 揚げ物油の発火
- グリル等の油污の発火
- ふきん等、周囲の可燃物に引火
- 水はねや蒸気による電気トラブル

リビング



- 電気コード類
 - ・たこ足配線
 - ・束ねた電気コード
 - ・家具による踏み付け
- ストーブ
- 白熱電球
- たばこの灰皿

- 住宅全体に備えたい! → **住宅用スプリンクラー** がおすすめです!
- 「寝室」や「リビング」だけでも備えたい! → **住宅用下方放出型自動消火装置** がおすすめです!
- 「台所」だけでも備えたい! → **天ぷら油消火用簡易装置** がおすすめです!

住宅用スプリンクラー 水を使用

住宅用スプリンクラーは水道水を利用し、火災時の熱を感知すると、自動的にスプリンクラーヘッドから散水します。高齢者など容易に避難できない方の避難や救助の時間を確保できます。

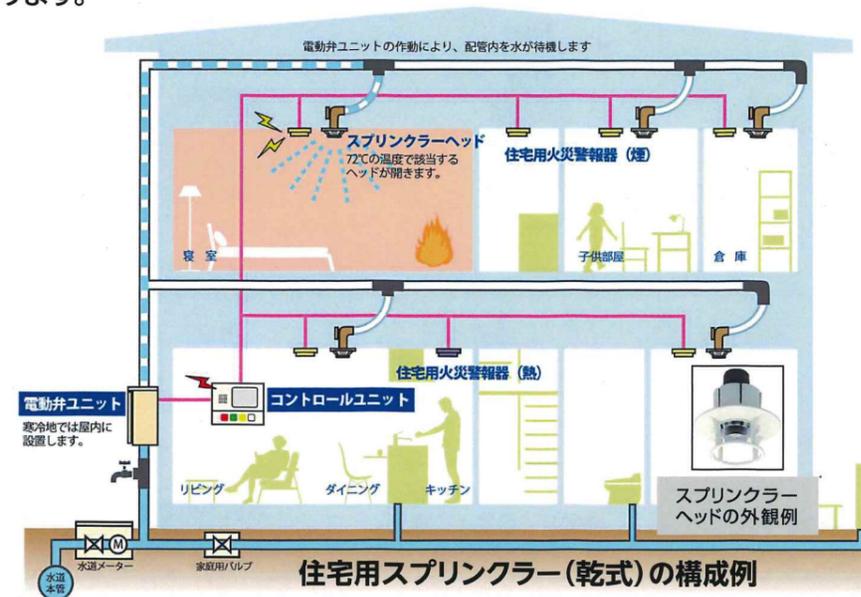
湿式 と **乾式** の2種類があります。

湿式

- 配管内に水が入っています。
- 電気工事が不要です。
- スプリンクラーヘッドが熱を感知すると散水します。

乾式

- 普段の屋内配管には水が入っておらず、火災を火災警報器が感知すると充水されます。
- 配管等の破損による水漏れの心配がありません。
- 凍結の心配もありません。



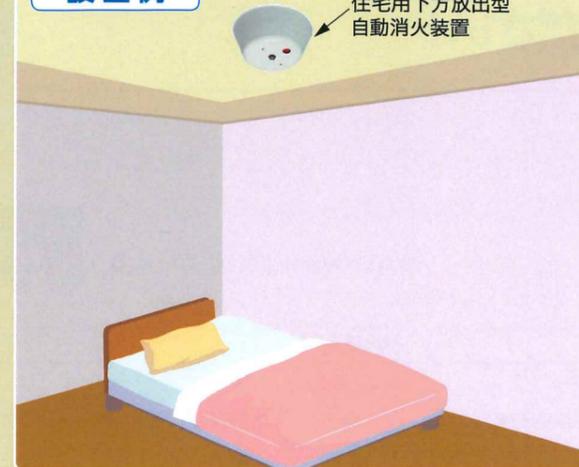
住宅用自動消火装置 薬剤を使用

住宅火災の初期消火に適した装置として国がその性能を規格化しており、**住宅用下方放出型自動消火装置** と **天ぷら油消火用簡易装置** の2種類があります。どちらも装置の中に消火薬剤を備えており、火災の熱を感知すると自動で放出します。

住宅用下方放出型自動消火装置

一般的な住宅に設置しやすいよう、様々な形状や大きさの製品 (本体床置、天井取付) があります。

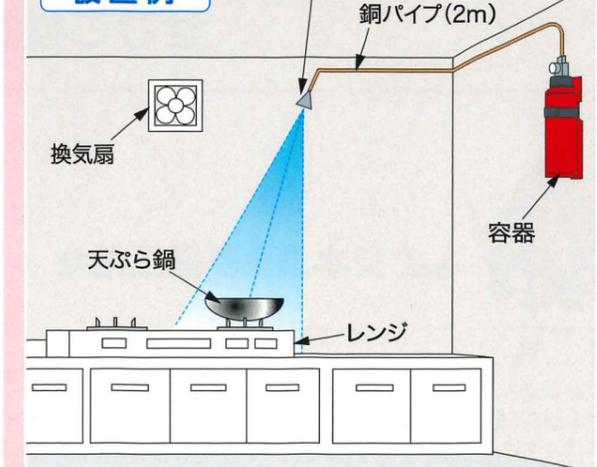
設置例



天ぷら油消火用簡易装置

台所火災専用の装置で、特に天ぷら油火災に対しては強力な消火能力を発揮します。

設置例



令和6年度 住宅防火対策推進事業実施結果

団体名 一般社団法人 日本損害保険協会

担当者名 業務企画部 啓発・教育・防災グループリーダー 田中 裕司

事業項目	事業の概要
<p>全国統一防火標語 ・ 防火ポスター</p>	<p>防火意識の高揚を目的として、全国統一防火標語を掲載した2024年度防火ポスター（後援：消防庁）を約20万枚作成。 同ポスターは、消防庁に寄贈し、2024年4月1日から全国の消防署ほか、市役所などの公共機関等で掲出。 なお、この防火ポスターには、住宅用火災警報器の点検・交換の必要性を啓発する文言を記載している。</p>
<p>軽消防自動車の寄贈</p>	<p>地域における消防力・防災力の強化を目的として、全国の5市町村（離島を除く）および4離島に軽消防自動車を計9台寄贈。 全国の市町村（離島を除く）には1952年度から、離島には1982年度から毎年、消防自動車や小型動力ポンプ等の消防資機材を寄贈している。（2024年度までの累計寄贈台数は3,521台）。</p>

令和6年度 住宅防火対策推進事業実施結果

貴団体名：一般社団法人日本たばこ協会

御担当者名：山口竜太

事業項目	事業の概要
喫煙マナー普及啓発活動	<p>たばこ火災注意喚起活動</p> <p>■概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 2011年度より全国消防長会・消防庁と協働して、啓発ツールの配布を通じて『寝たばこ防止』に関するたばこ火災注意喚起活動を全国で実施。 ▶ 一人暮らしの50代以上男性喫煙者を寝たばこ火災防止の主な訴求対象とし、2016年度よりその主対象者層から支持を得ている往年の名作「めぞん一刻」を各種啓発ツールに起用し、寝たばこ防止三カ条を継続して訴求。 <p>■2024年度施策の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 2024年度も「令和6年度秋季全国火災予防運動（11月）」に合わせ、以下の啓発活動を実施。※春季（3月）は①～④のみ実施予定 <p>喫煙マナー普及啓発活動-たばこ火災注意喚起活動-2024年度 協会の活動 (一社) 日本たばこ協会</p> <ol style="list-style-type: none"> ① A4チラシ（80万部） 全国の消防機関を通じてA4サイズのチラシを配布。 ② 等身大バナースタンド（21消防本部、50個） 2024年度は一部の政令指定都市にある消防局へ昨年配布した「めぞん一刻」のキャラクター「音無響子さん」の等身大スタンドバナーの再活用を要請。 ③ ポケットティッシュ配布（18万個） 全国たばこ販売協同組合連合会（全協）のたばこ販売店や街頭イベント等を通じて主対象者向けにポケットティッシュを配布。 ④ 全国たばこ新聞へ出稿（2024年11月号、11万部+Web） たばこ購入者への啓発に向け、全協加盟たばこ販売店に訴求。 ⑤ メディア施策 昨年に引き続き、Web広告（5600万人へ訴求）、X（旧Twitter：47万回表示）、弊会ホームページ（22万人へ訴求）を組み合わせるキャンペーンを実施。認知の高い「めぞん一刻」を活用して効率的に訴求。 ⑥ 炊き出し企画（約1500人へ訴求） 昨年協賛したNPO法人（TENOHASHI、Homedoor）に加え、新たに1団体（大阪租界）へ協賛。当啓発活動の主対象者が多く集まる炊き出しにて、A4チラシ、ポケットティッシュ、手袋等を配布し、直接訴求を実施。

令和6年度 住宅防火対策推進事業実施結果

貴団体名 一般社団法人日本DIY・ホームセンター協会

担当者名 丸澤 寛頼

事業項目	事業の概要
関係機関からの周知依頼に対する協力	総務省消防庁（住宅防火・防災キャンペーン、秋季全国火災予防運動）および東京消防庁（危険物品の陳列販売等に係る規制、札幌市中央区で発生した火災を受けたガソリンの容器詰め替え時等における本人確認等の再徹底）からの周知依頼に対して、小売業（ホームセンター）を通じ、広報活動に協力いたしました。
展示会での防災（防火）に係る周知啓発	弊協会主催の「第60回 JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2024」（2024年8月29日～31日、於：幕張メッセ、来場者数：60,225人）で防災イベント（起震車やVR体験）やセミナーの開催、関連用品の展示を実施しました。

令和6年度 住宅防火対策推進事業実施結果

貴団体名 一般社団法人 日本配線システム工業会

御担当者名 住宅盤専門委員会技術小委員会 副主査 三輪修

事業項目	事業の概要
イベントでの普及啓発	配線器具の日（11月11日）に主要都市において街頭活動を行い、配線器具の安全利用の促しや感震ブレーカーデモ機を利用して、一般の方への感震ブレーカーの普及推進を実施した。
チラシ及びホームページでの広報	当工業会のホームページに感震ブレーカーの紹介と選定詳細資料を掲示。 チラシを利用し、電力関連団体への普及促進を実施した。

「配線器具の日」街頭キャンペーンの報告

日本配線システム工業会では毎年11月11日を「配線器具の日」と定め、一般消費者の方へ配線器具と住宅用分電盤の安全使用訴求を行うため、点検・交換パンフレットをエコバックと共に配布する、街頭キャンペーンを2009年(平成21年)より実施しています。このキャンペーンは、本年度で14回目を迎えました。

開催場所・日時等

地区	日時	街頭キャンペーン場所	参加メンバー
首都圏 (横浜)	11月6日(水) 10:30~14:30	横浜駅東口 新都市プラザ (そごう横浜店前)	首都圏地区会員 11名 全関東電気工事協会様 4名
名古屋	11月11日(月) 10:30~12:30	JR名古屋駅桜通口前	中部地区会員 11名
大阪	11月11日(月) 11:00~13:00	京橋 ツイン21 アトリウム 1F	大阪地区会員 13名
首都圏 (有楽町)	11月11日(月) 10:00~12:00	有楽町 東京交通会館前	首都圏地区会員 4名

今年は横浜駅東口新都市プラザイベントスペース、名古屋駅桜通口前、大阪京橋ツイン21アトリウムに加え、有楽町東京交通会館前でパンフレットの配布を行い、4会場合計で4,500セットを配布する事が出来ました。今回のキャンペーンからパンフレットを入れるエコバックを一新し、折り畳んで小さくまとまるポリエステル製エコバックに変更し、色もネイビー・カーキ・オレンジの3色としました。パンフレット配布以外の活動では、例年同様に横浜会場で機器の安全利用に関する**感震機能付住宅用分電盤のデモ機展示**、独立行政法人製品評価技術基盤機構(nite)のホームページで公開されているコンセントのトラッキングや異常発熱に関する映像展示、不具合品現品展示、コンセントや接地に関する展示等と、昨年に引き続き全関東電気工事協会・神奈川県地域協会様のご協力により、電気工事に関する相談窓口を設け来場者の相談に対応しました。これらの活動を通し、多くの方に配線器具と住宅用分電盤の点検・交換の重要性をお伝えすることができました。

【街頭キャンペーン各会場の様子】
首都圏会場



名古屋会場



大阪会場



有楽町会場



ポイント 住宅用分電盤も、時が経つと機能が劣化します!

分電盤の性能は日々進化しています。



分電盤の内部機器は年数とともに劣化していきます。ぜひこの機会に古い分電盤の点検・交換をおすすめします。

「住宅用分電盤用遮断器の更新推奨時期に関する調査報告書」(平成8年3月 日本電機工業会発行)によると、住宅用分電盤内に設置されている主幹漏電ブレーカの更新推奨時期は「製造後13年」とされています。

より安全なものに取り替えると安心ね!



住宅用分電盤の認定マークは、安全と信頼の証です。

日本配線システム工業会では、住宅用分電盤の自主規格として、JWDS0007「住宅用分電盤」を定めています。この規格に適合した製品には、住宅用分電盤を製造するメーカーにより、当工業会が発行する認定マークが貼られています。



スタンダード住宅用分電盤



高機能住宅用分電盤

このパンフレットは、分電盤の販売を目的とするものではありません



当工業会は、斡旋販売活動を行っていません。

お取り替えは、安心できる工事業者さまへ

分電盤の取り替えには電気工事士免許が必要です。取り替えは、電気工事組合などに加盟する電気工事業者様に依頼してください。(取替工事費用は工事条件によって異なりますので、加盟工事業者様にご相談の上、事前に見積もりを取られることをおすすめします)

参考 全日本電気工事業工業組合連合会 <https://www.znd.or.jp>
●高額の取替斡旋には注意してください。

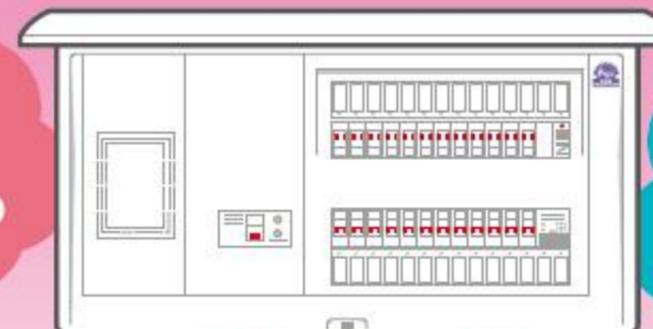


電気工事組合などに加盟する電気工事業者様がオススメです

お宅の分電盤は安全ですか?

住宅用分電盤点検&更新のおすすめ

分電盤って、ふだん気にしていないけど、何をやる機器なの



住宅用分電盤は、電気を安全に使えるよういろんな機能を備えています

さらに、地震発生時に自動で遮断する感震機能付などもあります



住宅盤専門委員会	https://www.jewa-hp.jp/
音羽電機工業株式会社	TEL.06-6429-3541
河村電器産業株式会社	TEL.0561-86-8111
テンパール工業株式会社	TEL.082-282-1341
東京キデン株式会社	TEL.03-3251-3332
内外電機株式会社	TEL.06-6783-3361
日東工業株式会社	TEL.0561-62-3111
パナソニック株式会社	TEL.0561-54-3511

住宅用分電盤は「電気のある快適な暮らし」の安心を守ります

住宅用分電盤は性能・機能が進化しています。お宅の分電盤をチェックしましょう！

チェック

1 漏電ブレーカは、付いていますか？

家電機器や屋内配線の損傷や劣化により漏電が起こると感電事故や電気火災を引き起こすおそれがあります。漏電遮断器または漏電ブレーカの表示、テストボタンがあるブレーカ*が漏電ブレーカです。

*「チェック2」のブレーカ図をご参照ください。



感電や電気火災の防止に有効です

チェック

2 過電圧保護機能は、付いていますか？

100Vの家電機器に100Vを超える電圧がかかった場合、家電機器が故障することがあります。100Vを超える異常電圧の発生をすばやくキャッチし家電機器の故障を防止します*。主幹ブレーカ表面のラベルに「単3中性線欠相保護付」と書かれているかご確認ください。

*単相2線式配線の場合はこの現象は起きません。

▼下の図は旧型ブレーカのイメージ図です。



万一の事故から家電機器を保護できます

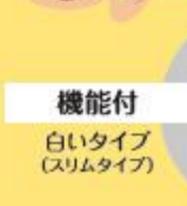
チェック

3 コード短絡保護機能は、付いていますか？

電源コードが家具にはさまれたりして劣化すると被覆がむけて短絡（ショート）し火災を引き起こすおそれがあります。



コード短絡保護機能付の見分け方



*一部機能付のものがあります



チェック

4 感震装置の取付けをおすすめします！

大規模地震時の電気火災の発生抑制対策と推進についての報告書*で地震時に危険な密集市街地に感震機能付住宅用分電盤の普及促進を提言しています。

*事務局：内閣府（防災）、総務省消防庁、経済産業省



【感震装置のはたらき】

基本動作

地震検知後、3分が経過すると主幹漏電ブレーカを自動遮断します。

地震検知後、3分以内に停電が発生した場合

復電直後に主幹漏電ブレーカを自動遮断します。

停電発生後に地震を検知した場合

停電後8秒以内は地震を検知することができます。その場合、復電直後に主幹漏電ブレーカを自動遮断します。

地震検知後3分以内に安全確認ができた場合

地震検知後3分以内にリセット操作を行うと、主幹漏電ブレーカは自動遮断されず通常状態に戻ります。



万一の地震時にも、自動で電気を遮断します

チェック

5 避雷器の取付けをおすすめします！

雷によって雷サージ（電気系統などに異常に高い電圧が瞬時的に生じる現象）が発生すると、パソコンや家電製品などが故障することがあります。避雷器の付いた住宅用分電盤なら、雷サージをカットして、電気製品を守ります*。

*電話線、テレビアンテナから侵入してくる雷サージに対しては保護できません。



雷サージから家電機器を保護します



令和6年度 住宅防火対策推進事業実施結果

団体名 公益財団法人 日本防災協会

担当者名 総務部 広報室長 石渡 英幸

事業項目	事業の概要
<p>展示会への出展</p>	<p>1 9月に東京ビッグサイトで開催された「第51回国際福祉機器展 H.C.R. 2024」に出展し、来場した福祉施設関係者や高齢者等在宅看護する方々に防災品の必要性・有効性等をPRした。</p> <p>2 1月に東京ビッグサイトで開催された「令和7年東京消防出初式」に出展し、来場した関係者の方々に防災品の必要性・有効性等をPRした。</p>
<p>防災品の寄贈</p>	<p>(一社) 全国消防機器協会・社会貢献事業に参加し。全国20ヶ所の町会・自治会に防災毛布を1地区25枚、合計500枚を寄贈した。</p>
<p>消防本部が行う住宅防火対策事業への支援</p>	<p>住宅防火対策事業を推進している消防本部に対し、この事業での活用を目的として防災品に関するパンフレット・チラシ等を配布した。</p>
<p>防災講座</p>	<p>全国の消防本部・消防学校の消防職員その他、消防団員や地域の自主防災組織、町会自治会等の防災リーダーに対して、住宅防火等における防災品の有効性等認知度向上のため防災講座を72回開催した。</p>

令和6年度 住宅防火対策推進事業実施結果

団体名 電気保安協会全国連絡会

担当者名 事務局長 本多 隆

事業項目	事業の概要
<p>感震ブレーカーに係る周知啓発活動</p>	<p>全国の10の電気保安協会では、電気事業法第57条の2に基づく調査業務の登録調査機関として、送配電事業者等からの委託を受け、4年に1回以上の頻度で一般住宅等を訪問し、電気設備の安全点検を実施している。</p> <p>同点検にて一般住宅等のお客さまに配付する「電気安全パンフレット」では、感震ブレーカーに関する内容を掲載し、感震ブレーカーに係る周知啓発活動を実施した。なお、お客さまが不在の場合は、同パンフレットは、郵便受け等へ投函した。</p> <p>なお、令和6年度の「電気安全パンフレット」の配付部数は、約1,000万部。</p> <p style="text-align: center;">電気安全パンフレット 感震ブレーカーの掲載例</p>  <p>この資料に関するお問い合わせ先</p> <p>内閣府 消防庁 経済産業省</p> <p style="text-align: center;">出典：一般財団法人 北陸電気保安協会 https://www.hokuriku-dhk.or.jp/personal/research/</p>

令和6年度 住宅防火対策推進事業実施結果

団体名 日本消防検定協会

担当者名 企画研究課課長 佐藤 まゆ

事業項目	事業の概要
住宅用防災警報器の作動状況等に関する調査研究	<p>火災時における住宅用防災警報器の作動状況等（作動なしの理由、型式番号等）について、全国の消防本部から収集した令和5年中のデータを基に、学識経験者による調査、分析することを一般財団法人 全国消防協会に委託し、実施した。</p>
住宅用防災機器の普及促進・広報事業	<p>一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会に委託して制作した冊子を全国の消防本部に配布するとともに、全国の消防本部が住宅防火対策普及促進活動のために使用できるよう当協会のホームページに掲載し、住宅用防災機器の普及促進に係る広報事業を実施した。</p> <p>一般財団法人 日本防火・防災協会に委託して制作した防火防災かるたを全国の消防本部を通じ、女性防火クラブに配布し住宅用防災機器の普及促進に係る広報事業を実施した。</p>